

(特非) APLA

東ティモール・エルメラ県における地域住民参加型の植樹活動・水源保全活動実施と持続的モデルケースの構築

イベントの 延べ参加者数	105人
制作した動画の ウェブ上閲覧数	360ビュー
活動の全体目標 に対する達成度	70%



環境保全について大人も子どももともに学ぶ

◆成果と工夫したポイント

- 成果** これまで地域での実践が進んでいなかった残りの2グループでも、多量目栽培の小規模実験農場の試験運営が始まった。それにより、持続的な農業の確立と並行した形で、地域の環境保全活動に向けた一歩を踏み出した。
- 工夫** 地域住民への波及効果を高めるために、小学校(子ども、先生)を巻き込んでワークショップを実施したこと。

課 題

森林伐採や気候変動による山の保水機能の低下に起因し、水問題が深刻化している活動地の現状に対して、地域住民による主体的な保全活動の仕組みを構築する。

活動内容

地域住民が実践を通して、植樹活動・水源保全活動の意義や方法を学ぶワークショップを実施した。活動を記録し、住民参画型の水源保全の重要性について、東ティモール国内に広く伝えるための映像作品を制作した。また、以前は植樹活動などの阻害要因となっていた「収入につながらない」という点を克服するために、地域の風土・気候に適合し、かつ、域内で継続的に販売できる果実・ナッツ類の植樹を進めてきている。



保全活動から一年が経過した水源の様子

今後の課題

最終年度は、将来に向けた環境教育の側面をより強化し、子どもたち対象の環境キャンプを実施する。そこに、地方行政や他のNGOなども巻き込むことで、関係者の協働体制を構築・強化し、助成活動終了後につなげたい。